「軽いから、誰でも着せたり脱がせたりしやすい」と話す木沢さん。AIR STYLISTの魅力ってどんなところですか？

スタイリスト／VMDスペシャリスト

木沢伸子

KIZAWA NOBUKO

ONWARDなどの国内アパレルでのディスプレイ並びにデコレーションワーク、髙島屋、三越、韓国ロッテ、台北百貨店などでのVMD、ディレスプレイ教育、サントリー、セブンアンドアイのCMのスタイリングを手がける。日本ビジュアルマーチャンダイジング協会員。

Q：マネキンに、軽さは重要ですか？

「重要です。マネキンの重さっていうのは、私たちにとっては大きな事なので、軽くなるっていうのはとてもありがたいことです。軽いことで移動もスムースに早く済むし、効率よく作業できますね。今まで衣装の形によっては、マネキンが重くて1人で着せ替えができない場合があったんですね。誰かに持っててもらわないと重くてできなかったんです。でもこれ（AIR STYLIST）だと、軽いんで1人で全ての作業を完結できます。なので、数をこなす仕事でも、少ない人数でできるし、1人で数をこなせるという点ですごくメリットがあるんじゃないかなと思います。今回の軽量マネキンが、たくさん売り場に設置されると嬉しいなと思ってます。

Q：今回従来品に比べて重さが約1/2ということですが、実感されましたか？

「腕を入れる時、下からパンツを上げる時とか、完全にマネキンを持ち上げての作業になるのですが、その時の軽さがぜんぜん違いますね。特に腕は、冬になると、カットソーがあってブラウスがあってジャケットがあってコートまであるので、服自体も重いし、かなりの枚数の中に腕を通すので、マネキンの腕の重さによってかなり大変さは違いますね」

Q：なるほど。毎日現場で作業されている方でも違いを感じるということですね。

「そうですね。かなり軽いですね。現場でマネキン（全身）を持って、移動したりするので、それが半分の重さっていう事になると、例えばウィンドウへの出し入れが、楽になることは、とても嬉しいですね。この仕事を長くやっている人はけっこう腰を悪くしたりするんです。移動と設置の時にかなり負担がかかるので、軽さというのはかなり大事。搬入、搬出、着せ替えのストレスが、かなり違うと思います」

Q：軽さ以外にAIR STYLISTの良さって感じられましたか？

「壊れにくいことですね。冬場のディスプレイは服で隠れる部分が多いので、ボディーにキズがあっても目立ちにくいんですけれど、夏場は肩から腕とか、膝から下の部分が見える事が多いので、少しでもキズがあったりすると、使えないんですね。これ（AIR STYLIST）みたいに、破損しにくい素材であるという事は、作業やメンテナンスを含めて良いですね」

Q：最後に。木沢さんのようなプロじゃなくても、AIR STYLISTは使いやすいものでしょうか？

「私はディスプレイの仕事なので毎日マネキンを使ってやっているんですけど、百貨店の方とか洋服メーカーの方とか、通常接客サービスがメインで、仕事の一部としてこういうディスプレイをされると方々でも、着せやすいと思います。軽いから、誰でも着せたり脱がせたりしやすいですね」